日本ボーイスカウト京都連盟

京都第38団育成会

年次総会・資料

1986

昭和61年11月29日（土）

於　団本部　長休寺本堂

年次総会次第および議案

開　会　式

1. 開式のことば
2. 国　旗　儀　礼
3. 讃歌　「衆　会」
4. 礼　　拝
5. 育成会長挨拶
6. 閉式のことば

会　　議

1. 団委員長挨拶
2. 議長・副議長の選出
3. 議長挨拶
4. 記録係の任命

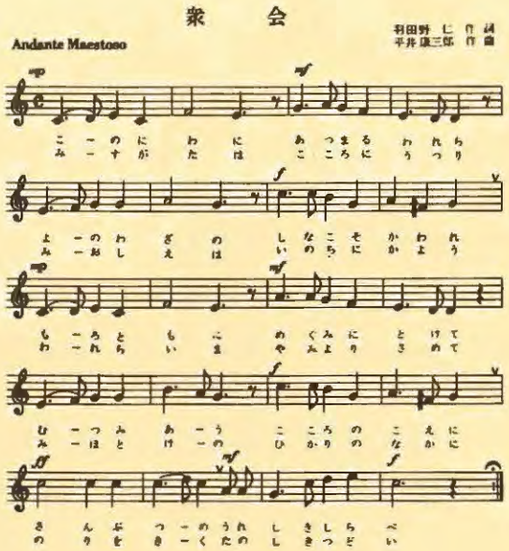
議　　案

1. 昭和61年度各隊活動、団行事報告。
2. 昭和61年度収支決算報告。
3. 昭和62年度顧問、育成会長、会計監査の選出。名誉会員の推薦。
4. 昭和62年度団委員並びに役務分担承認。
5. 昭和62年度各隊指導者選任報告。
6. 昭和62年度活動計画について。
7. 昭和62年度収支予算について。
8. その他。

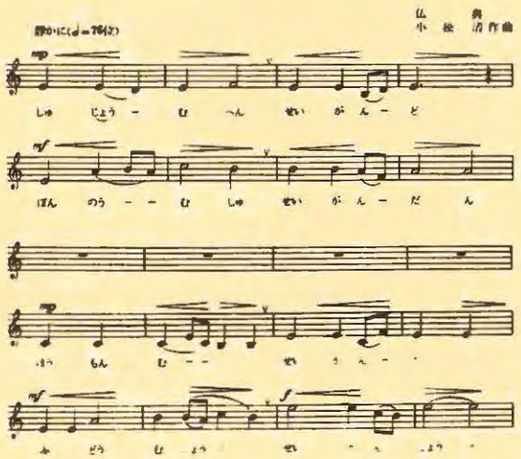
閉　会　式

1. 開式のことば
2. 小川顧問の話し
3. 讃歌　「四弘誓願」
4. 礼　　拝
5. 国　旗　儀　礼
6. 閉式のことば

衆　　会



四　弘　誓　願



総会の御挨拶

小　川　玄　諦

５５年に近い歩みの歴史の中で　入団者の減少と言う初めての社会的現象の体験に会つて　（全国的現象）今、その事実の認識の上に立つて思いますことは、該当年令者数とスカウト数の比較よりして、我々の啓蒙の努力の不足を痛感することでありますが、その意味で　次年度は、その土壌を培つて、開拓して行かねばならない年になりそうです。育成会に課せられましたその活動への課題であろうかと存じます。

そうした問題を抱えます中にあつて、大きな力を与えてくれましたのが、私のために、ご繁用の中盛大な祝賀の宴を催していただきました事に、家内共々感激の涙に、そして家に帰りまして回想に耽つたことでございますが、その感激に加えて、私にとつての更に大きな喜は、御来会いただきました諸先生からの賞賛と、大先輩であり　師でもある尾崎先生から頂きました『　実によく纏つた団だ、さすが小川先生の団ですね。歌も、司会も　運営も、キャンプファイヤーもすばらしい　スカウティングをやつている団　』として賞賛の御言葉をいただきました。それは、単なる儀礼的な招かれたものとしての賛辞では無くて、日本連盟の現状、府県連の現状をも伺い、そのことどもとも比較しての賛辞でございましただけに、こんな悦びを味え得たのも、その運営に支援下さいました育成会の皆様と、スカウト教育の原点を把握し、それを展開してくれるスカウター諸君のお陰と手を合せたことでございます。こんな評価を受け得られましたことは、私は勿論、スカウター諸君も、育成会の皆様にも、夫々自己確認という大きな力になつたことの喜びは、最高のものであろうかと存じます。

永いスカウト活動の中で、教えると言う思いあがりでスカウティングをやつたことはありませんとは言うものの、かなりの年を径てからの目ざめさせられた事ですけれども、あくまでも、＜共に道を歩むもの＞としての、自分が自分を築きあげる若者の集いがスカウトなのですから、その仲間の、そして、その活動の場を作り、皆様の育成奉仕のお陰を背景にして、現場でスカウトと共に走り廻れない老スカウターのもどかしさをも味いつつも、なさねばならない事だつたのだ、本当にこれでよかつたのだなー、と存じましたことです。ありがたいことでした。厚く御礼申しあげることでございます。

スカウティングの何かを掴んでくれたスカウターの諸君が、後に続くスカウトの為に　その指導に加え　奉仕下さることを願望し、また期待し　ローバースカウトにあつては、その進学を控え　その進路も決定し　精進されていることと思いますと共に　どうか　よい年でありますようにと願いつつ　築きあげられたこのよき伝統を受け伝えてくれる活動に期待するという　そんな欣びを胸に、こんなご挨拶の出来ますことを謝し　次年度もよろしくと御願い致し　ご挨拶といたします。

育成会員の皆様へ

大過なく本日の総会を迎えましたことは、ひとえに育成会員の皆様はもとより、リーダー、団委員の方々の努力と精進の賜のと感謝致しております。
又先日(11月1日～2日)は城陽(友愛の丘)に御参加、御奉仕いただき真にありがとう御座居ます。
心より御禮申し上げます。
大先輩の先生方のお言葉には感じ入るものが多く有りました。心して団の発展のため頑張りたいと思います。
賛助会員の方々には、いつもながら御援助賜り有難とうございます。御芳名を記して感謝のしるしとさせて頂きます。（順不同）

高畑商店様、初鹿商店様　山宗商店様、司田村商店様
田市商店様、長谷川商店様、木村商店様、井北村商店様
喫茶ヒサオ様、ハウデー国府様　馬場商店様、出口定枝様
辻井富久子様、辻井睦治様、田宮修徳様、関口武三様
八木マサ様、松野甚太郎様、木村一男様、佐竹梅子様
船川光様、中山(サン・クロレラ)流石様、牧本(牧本金属)新市様、千種勝正様

今後共、重ねて御援助をお願い申し上げます。

育成会長　中川恵造

新米団委員長の一年

三指

晩秋の候、育成会各位におかれましては、御健勝のことと、心よりお慶び申しあげます。　日頃３８団の運営に際して、心と時間と物資にわたり、御協力を賜り厚くお礼を申しあげます。

この一年間、各隊指導者及び団委員の皆様には、多大なる御奉仕をいただき、心より感謝申し上げるものです。
お陰をもちまして、１０月２６日の上進式において、スカウト一人一人が"矢"を射り、新な"道"を求めて上進してくれました。これも皆様方のなみなみならぬ、御奉仕の賜と厚く感謝申し上げます。

我団の現状を振りかえり見ます時、理想的な団運営がなされていることは、大変ありがたいことです。しかし、いろいろな課題が山積しています。その課題の一つとして、各家庭でのスカウト活動に対する、取組方、考え方がいかほど理解されているのか疑問に思うことがしばしば感じ取れます。
スカウト活動がすべてでわないと思いますが、子供の「人格完成」の上から考えますと、スカウト活動につきるのではないか。！
（スカウト活動を御理解していただければ）
『私たち親は、子供の幸せを願い"良き社会人"と成るよう』
その為に、親は何をしなければならないか、御理解と御協力が必要だと思います。
我々、男の子を持つ親として、お互いが研賛し会い、考え様ではありませんか。　来年度には、この様な研賛会を是非とも発足させたいと思います。その節には、御出席方を今からお願いします。
もちろん、指導者の方々にも、スカウト訓育の原点から再度研賛をしていただき、お互いが良い方向を見つけだし、良きスカウト達を生み、育ていただきたく思います。
新米委員長が口はばったいことを申しましたが、スカウト活動について、一種の危機感を感じている昨今です。
どうか、皆様方におかれましても、お忙しいとは存じますが、このボーイスカウ活動がより発展しますよう御理解と御協力くださいますことをお願い申し上げます。

弥栄

昭和61年11月29日

団委員長　　下坂紀一

この一年を顧みて
（うさぎの隊長）

私はうさぎの隊長である。言うなれば新米隊長である。昨年の今時分、スカウティングの右も左も判らない私がいきなりカブ隊の隊長を仰せつかった。前年は団委員（野行委員）として勤めたけれど、その大部分は妻が勤めを果たした。いわゆる二人三脚である。

隊長を仰せつかる前、１０月１０日から「ボーイスカウト課程神奈川第４８期生」としてウッドバッジ研修所に入所した。京都からは福永君松本君と私の三人、他は関東の人達であった。四泊五日で午前６時起床午後９時まで食事以外は課業の連続でスカウティングに不馴れの性もあって皆について行くのが精一杯、というより皆の足を引っぱっていた。しかし、あにはからんや唯一の個人賞の「スマートネス賞」を戴いたり、楽しく勉強をさせて戴いた。この研修所を終え帰宅したとき、疲れはしていたものの気持ちは充実していた。

そして、先に記したようにいきなり隊長を仰せつかったのである。この研修所入所の御陰で、「この活動は人の為ではなく自分の為に行なっている。」と感じていた矢先であった関係で、この申し出は有り難くもあり、嬉しくもあったが、自分にこの大役が勤まるだろうか、団の皆様にご迷惑がかかるのでは、と数日間考えたあげく「何事も実践」とＯＫした。

「青少年の健全育成」がさけばれ久しいが、私は田舎育ちの性か小さい頃から泥んこになって遊びまわったものである。そして、自然から学ぶものも多かった。例えば、理科の中に出てくる「扇状地」や「三角州」にしても、泥山を作り水を流すと「扇状地」が形成されていく様が、又、水溜のところで水を流すと水溜の中に「三角州」が形成されていく様が遊びの中で自然に学べた。この御陰で教科書の中にこの事が出てきても何の違和感もなく頭に入った。「めじろ取り」をして鳥は決まった時間に決まった場所を通ること、ナイフにしても、「肥後の守」をポケットに入れて遊びまわった御陰で刃物の危険なことも、その使い方も自然に覚えた。

最近は、学年が違うと一緒に遊ぶという事が非常に少ないが、私達の小さかった時は、上級生と遊ぶことが多く、そこから学んだことを下級生に伝えるといった縦の繋がりがあった。これは何も懐古趣味で言っているのではなく、「先人に学ぶ」という言葉がある如く、先人に学ばなくて何の発展があろうかと思うからである。スカウトが、学校あるいは社会に出て、同僚、友人と言った横の繋がりはともかく、親と子、先生と生徒、上司と部下といった縦の繋がりはより重要である。ここで、誤解があっては困るので付け加えると相互信頼に裏づけされた縦の繋がりが重要である。友人といった横の繋がりは、嫌になれば付き合いをやめれば済むが、親と子、先生と生徒、上司と部下といった縦の繋がりは、嫌になったからと言ってやめられるものではない。やめれば即、自分自身を捨てたのも同然である。こういう点で、スカウティングのパトロールシステムは素晴しく、重要である。

さて、この一年の活動を顧みるとき、自分の力の無さに、また、知らないうちに皆様にご迷惑をかけたこと、至らなかったこと、助けて戴いたこと等々お詫び致しますとともにお礼申し上げます。”ＴＨＥ　ＷＯＬＶＥＳ　ＲＥＵＮＩＯＮ”玄諦ジャンボリーにおいて、小川先生の書かれた「実践」を座右の銘として努力し、「しかの隊長」になりたい。

カブ隊　隊長　平野和人

年間反省

BS隊のリーダーは今年度が最初でした。今年は自分自身にとって結婚ということもあって当初多忙になりとても隊長という役務を果せないのではないだろうかなどと考えたりしました。年間を通して忙しいながらも各集会にはほぼ毎回出席することができ、スカウトといつも行動を共にし、彼らをよく理解しているつもりでいました。

しかし、上進式が近づくにつれて上進しないスカウトが出はじめ、そのスカウトに対していままでよき指導者でなかったことを認識させられました。実際、反省してみると、一方的な面がたくさんあり、初めは、なんの影響も出なかったがそれがつもりつもってスカウトから信頼されないリーダーになってしまったのではないかと思います。スカウトが何か悪い行動をとった時、その行動すべてに対して叱りつけていた。状況によっては、注意して彼らにわからせなければならない時も多くあったと思います。

今年度の反省材料は今後の課題としたいと思います。他のリーダーならびに団委員の皆さん、ご迷惑をおかけしましたが1年間ありがとうございました。

BS隊々長　山川勝也

1986年度　年間プログラム

月	テーマ	訓練目標	プログラムにおける主なねらい	主な行事
11	入門コース	基本	初心にもどる 出席率向上 スマートネス	報恩講 地区ラリー GTJ
12	どちらへ行こうか	読図 通信 奉仕	地図を確実によめるようになる 計画書，報告書を作成できるようになる 通信法の基本を確実にする．	
1	サンパチ救急病院	救急 ハイキング	班内の正確な役割分担 事前の班訓練の重視 ⇒いつでも応急手当ができる	新年会 仮入
2	3分間COOKING	野外料理 ハイキング	チームワークを整える 食物に対する考え方 料理を作り食べる楽しさを知る／健康管理	雪中ハイク
3	ようこそボーイ隊へ	結索 基本	新入隊員を加えての班作り 自分達のプログラムの実施と反省，評価 →夏キャンプへ	班一泊 ハイク
4	STT 38 電信電話会社	通信 観察，計測	通信を使いこなす→通信を楽しむ 自然と親しむ	
5	38 調理師専門学校	野外料理 ハイキング	料理をつくり食べる楽しさを知る 集団行動の規律を守る	夜間ハイク
6	キムの冒険	読図 ハイキング 観察，計測	備品，精神の両面においてのキャンプ準備	
7	アイアンマン	体力づくり 救急	人命救助	
8	THE SEASON IN THE SUN	キャンプ	チームワーク向上	夏季キャンプ 地区キャンボリー
9	視界380°	観察 計測 結索	一年間の再確認 身近なものを使って計測する	
10	こっちこい元気	体力作り ハイキング 読図	健康な体をつくる	

昭和61年度 シニアスカウト隊 [活動報告]

〈班編成〉

ロッキー 班　松永, 石田, 下坂, 小野, 木野
アルプス 班　高橋, 山内, 南部, 三条場
ブラバス 班　桂, 西脇, 田中

宮谷, 宮本 両君は退団

(組織図)

班長会議 (松永, 高橋, 桂)
- 野外活動委員会 (下坂, 石田, 木野, 三条場, 田中)
- 室内活動委員会 (西脇, 山内, 小野)

(年間活動) '85.12.19 ～ '86.10.30

T.M…(隊集会), P.L.M…(班長会議)

'85.12.19. T.M (二・三年目)　団レセプションの件
12.22. 団レセプション
'86.1.6. 恒例　受験者激励会
1.11. P.L.M. 新組織　今年度の予定
1.21. T.M. 〃 〃
2.1. 比えい山　Night Ski
2.14. T.M.
2.23-24 マキノへ SKI　with 73団
3.23. T.M. 入隊式, 遠征, サンパチトライアスロン → 6/15 に決定
4.5. P.L.M. 入隊式について
4.6-7 入隊式　雲取産大小屋にて　小野, 木野, 三条場, 田中 入隊
4.26. T.M. 遠征, トライアスロン → 5/22 に変更
5.17. T.M. 交歓会, トライアスロン, 遠征
6.1. 交歓会 打合せ　大阪にて
6.7. T.M. 遠征, トライアスロン
6.14. T.M. トライアスロン打合せ
6.21. T.M. トライアスロン → 中止に　参加人数不足のため
7.17. T.M. 遠征
7.22. T.M. 〃
7.28. T.M. 〃
8.6～13 遠征　HOKKAIDO
8.17. P.L.M.
8.24. 交歓会　大阪 G.S.55団と　保津峡にて
9.6 T.M. 反省
9.12 P.L.M. 玄諦J について
9.30. T.M 〃　来年度の奉仕 上班 小野 隊付 田中 三条場
10.10.12.30 玄J ソング スタンツ 打合せ

〈HOKKAIDO 遠征個人プロジェクト〉

- 高橋 (北海道の特産物を探る) ・山内 (北海道の歴史を探る)
- 三条場 (稚内の地理と歴史) ・松永 (屯田兵の歴史) ・下坂 (稚内の歴史)
- 石田 (富良野盆地について) ・桂 (網走刑務所について)
- 西脇 (釧路の地理) ・田中 (リンリーの体験)

〈各行事の参加 及 奉仕活動〉

- 女子駅伝 奉仕 (1/19)　山内・石田・松永・桂・下坂
- 名誉奉仕訓練 (3/25～30) (参加) 山内・石田・松永　(奉仕) 高橋
- 美山町産業祭 ('85 11.23) 高橋, 山内, 松永, 石田
- 消防章講習会 (3/16) 高橋　松永
- 炊事章講習会 (3/20) 下坂　田中 三条場 西脇
- 日赤救急法 (9/3～) 田中, 三条場
- 9NJ　京都第5隊に　上班・山内, 隊付・高橋, 松永

○ブラックスピアー隊 (地区隊) 第4期に参加 … 松永, 高橋, 桂, 山内

☆進級状況☆

○富士章　袖岡 淳　11/29 面接合格 3/4 授与式　日連 608号
○隼章　山内 11/29 (省清寺), 松永・高橋, 2/7 (ホテル石長), 桂 1/30 (ハウス長体)

〈技能章〉

松永 … 救急, 野営, 消防, 野営管理, 自動車, 環境衛生
高橋 … 野営, 消防, 炊事, 天文, 音楽, 環境衛生, 野営管理
桂 … 野営, 環境衛生, 消防, 救急
山内 … 安全, 自動車, 環境衛生, 木工, 家庭修理, 野営管理
下坂 西脇 … 炊事

〈仏教章〉

'85.11.22 高橋 南 袖岡　服部 (ローバー)
'86.11.15 石田 山内

今年も富士が1名 隼は4名も出すことができ大変よろこんでいます
このことはシニア隊のよき伝統がまもれ育ってきたと評価しています
まして同じ年代の3名が3名とも隼になったことは今までになかったことなので後輩諸君の良き刺激になることでしょう　今後もより充実した内容の活動を心がけてしこうと思っています

シニア隊々長　本多直樹

櫓 ROVER INFORMATION.

BOY SCOUT OF KYOTO 38 ROVER PRESENTS.

S61-11-30

昭和61年度 活動報告

1 当初のもくろみ

- 重点目標
  - 海外派遣プログラムへの参加意欲を全員が持ち、チャレンジすること
  - CPS（計画策定技法）を体得し、スカウティングをすすめる上での各種阻害要因を解決すること
  - 夏季一泊合宿を実施し、ローバ隊の団結を計る
- 定常活動
  - 月一回の隊集会
  - 「櫓」の発行
  - 年間活動報告書（既
  - 団行事運営の支援

2 結果

- 「スカウティング」より海外派遣プログラム紹介
- 大菱隊長 国際キャンプ・スタッフ参加写真及び経験談
- オーストラリア スカウティング各種資料（もち英語）配布
- 百井一泊合宿にてCPS実施
  テーマ「魅力あるスカウティング」
  ～自主的なスカウトを育てるリーダとなるために～
  ⇨ 8つの問題点と17コの解決策を討議しました。
- 玄諦ジャンボリーの企画演出

3 今年を振り返り

- 富士スカウトが3名もいる日本一のローバ隊（松本道・服部・袖岡）しかも今度入隊した3名も全員「隼」
- 前半を 松本道チーフ 後半を 竹村チーフ よくとりまとめてくれた
- 山副（やまぞえ：通称やんまん）副長の登場
- 玄諦ジャンボリーで「スタンツ～絆（きな）～」「営火の点火」大成功！
- 一勝・中西 両名 追い出し野外パーティー（静原）
- 鶴田副長 ついに婚約♡♡

昭和62年度に向けて

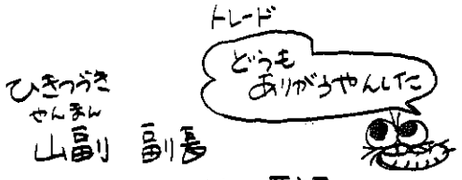
3 反省

- 出席者の固定化
- 継続的テーマなし
  ex) ローバリング トウ サクセス

4 方針

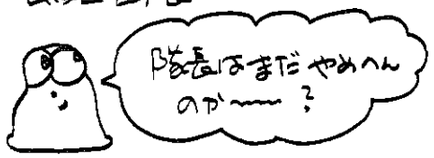
- 全員共通の目的意識
  CPSの継続
- 不参加スカウトへの情報
  「櫓」の送付
- 外部活動に接する刺激
- 「あそび」要素
- リーダの衣がえ

服部副長 ⇔ 山内（シニア）副長
トレード



ひきつづき
山副（やんまん）副長

OBよりも参加要請大
鶴田副長 （西村ッ…）



⇨ 豊富な人材なので担当制を！

CPS合宿よもやま話

CPSは全員が「頭脳全回転」で集中討議します。だから、とっても精神集中力が必要で疲れます。

そ、そ、その合宿に大豪ケッがいました。

何と西脇くんは友人を大切にするあまり、徹マン明けで参加しやはったのれす。 彼の参加実績は…

日本ボーイスカウト京都連盟
京都第三十八団育成会

賛助会員募集のお願い

謹啓　時下益々御隆昌のこととお慶び申上げます。
平素は青少年の健全なる育成のため御理解ある御支援と格別の御援助を賜り厚く御礼申上げます。
よりよき社会人を育成するため発足した私達京都第三十八団も二十余年の歩みを続けて参りました。
その間幾多の先達の英智と努力ならびに各位の御支援により現在に至りました。
本来ボーイスカウト運動は「ちかい・おきて」の精神により自主活動が本義でありますが、現状の会員のみでは充分なる発展は望み得ないと考え、賛成会員を募ることになりました。
つきましては、かねてボーイスカウト運動に深い御理解をお寄せ下さっております皆々様に格別の御配慮を賜り、御出費御多端の折とは存じますが、主旨を御賢察のうえ特別の御協力御支援にあづかり度、こゝにお願い申上げる次第で御座います。
何率宜敷く御配慮下さる事を幾重にもお願い申上げます。

敬具

賛助会会費
年間（一口）金二千円

京都第三十八団育成会

野営行事委員会

スカウト野外活動の中で、今一番の問題点はボーイ隊の夏期キャンプ地の設定にあると思います。
今年は昨年につづき信樂で行なわれましたが、出来ることなら、三、四年周期に安定した良いキャンプ地を確保し運営出来ればと日々思う次第でありますが、仲々適地がございません。他団との情報交換や育成会の皆様からの情報提供を期待致します。
幸い今年度の信樂キャンプ地の隣接に素晴らしい場所が有りまして将来一度使用してはと思っております。

キャンプ地の条件（例）

1、水があること　川でも水道水でもよい
1、幹線から1Km以内、軽自動車がキャンプ地の50m程に入れるところ
1、サイトが独立して5ケ所以上平地にてとれ雑木、松等があること
1、キャンプファイヤーや集会の出来る広場のあること
1、人々の多く出入がなく、緊急時には速やかに連絡等の出来ること
1、出来れば京都より2時間以内のところ以上

吉報をお待ち致します。　野行　T.N

カブスカウト隊育成会報告

一年間 隊プログラムが円滑に進行出来るよう下記の通り御奉仕させていただきました。
十分な御奉仕が出来なかった面も多々ある事と反省をしておりますが 御奉仕を通じて育成会各位との親睦はより一層深まり有意義であったと思います。
育成会各位の御協力に感謝いたしますと共に今後もより一層の御協力の程 お願い申し上げます。

60年
11月22日　育成会総会
12月22日　4・38合同特別隊集会　団行事
12月30日　早起き隊集会　カップヌードル

61年
1月1日　新年の集い
1月5日　隊集会　たこあげ　出雲路橋
　　クッキーと紅茶
2月2日　隊集会　花背峠　ぶたシナ
3月1日　入隊式
5月3日　隊集会
6月15日　北山地区カブラリー
7月5日～6日　隊集会　一泊舎営　百々井
　　輸送　火次出
7月9日　合同母の会
8月23日～8月26日　夏季舎営　マキノ
　　輸送　火次出
8月26日　反省会　1800～2000　長久寺
8月31日　特別隊集会　かんぽーる京都
10月4日　隊集会
11月1日～2日　玄諦ジャンボリー　成陽
　　輸送　もき店

以上
野行委員カブスカウト隊担当
入矢徹雄

健康安全活動報告

担当 西脇 桂

○ボーイスカウト傷害保険加入契約

① 第1回　60年 12月19日　115名
② 追加加入　61年 1月31日　7名
③ 追加加入　〃　6月20日　6名
④ 〃　〃　9月6日　1名（CS 鮒子田君）

○BS隊 夏季キャンプ地の下見
（期間 8/13～8/18 滋賀県信楽町）
7月20日 下阪氏 丹羽氏 最寄りの消防署と警察署へご挨拶に行って頂きました。

○北山地区健安委員会
7月12日(土) 午後7時半～ 於 西賀茂会館
案件 日赤救急法講習会の説明と受付け担当について
38回担当日 9月7日(日) 9時～12時 桂 西脇出席

○B S隊 宮川君 平野君 熊谷君 夏季キャンプ中にケガ
9月8日(月) 傷害保険金請求手続を行う

○R S隊 山川裕之君 昨年の夏活動中にケガ 全て事務手続き終了 通院保険でおりることになっていたが支払われてなく再度請求した。

○日赤救急法講習会開催 於 宥清寺 PM6時～9時
（受講日） 9/3(水) 9/5(金) 9/7(日) 9時～17時
9/10(水) 9/12(金) 9/17(水)

（38回受講者）
シニア隊 田中茂君 三条場健浩君
ローバー隊 竹村次郎君
団委員 和田喜与大 仕

以上

組織拡張担当報告

1. 昭和61年度 日本連盟登録申請
登録日 昭和61年3月2日(日) 午後1時～4時
於：宥清寺

スカウト 指導者 団委員 登録人数表

	指導者	隊員	計
団委員	19名		19名
C.S隊	7名	18名	25名
B.S隊	5名	29名	34名
S.S隊	5名	14名	19名
R.S隊	5名	15名	20名
	(団19)(指22) 41名	76名	117名

以上 117名登録 登録料 298,900円
後日 3名分（リーダー1名 スカウト2名）の追加登録申請する。

2. 新入隊説明会 昭和61年11月22日(土)
午後7時30分～9時.00 於：ハウス長休

3. 日本連盟登録申請について
今年は登録申請後 直ぐ3名の退団者が有り非常に残念でした。
本年度より登録料が値上げ改正されましたので、来年度は登録日前に リーダーとの再確認が必要かと思われます。

担当 松永 平野 丹羽

61年度進歩担当報告

60年11月29日　富士章連盟面接会　富士章授与 61年2月14日 袖岡淳
袖岡 淳

60年12月16日　乙級面接会　丹羽 雅義
61年1月19日　乙級面接会　熊谷 輝彦
61年2月16日　消防章講習会
高橋淳嗣　河北孝平　熊谷輝彦
丹羽雅義　末吉敦周
松永誠史　高橋宏樹

61年3月15日　1級面接会　高橋淳嗣
61年3月31日　初級面接会
隅村俊之，千種健太，宮川太郎
平野和豊，西脇淳人，河北淳太，徳岡龍彦

61年4月26日　乙級面接会　今井喜明
61年5月2日　乙級面接会　入矢一郎
61年7月23日　乙級面接会　西山太佳夫
61年9月27日　1級面接会　末吉敦周

3年間続いて富士章が出ました
今後のスカウトの意欲を期待します。

和田　山口

指導者養成委員会報告

この一年のご協力を賜り厚くお礼申しあげます。
スカウトを守り育てていくうえで、リーダーの役割が大きな要因をしめているということを痛感させていただいた一年でした。それにもかかわらず、団委員としての自覚が欠け後継者づくりに十分な活動ができたかには自信がありません。

しかし、皆様のご協力によりリーダー要因となるべき方がふえてきましたことは大変に嬉しいかぎりです。ローバー隊の活動も活発です。その活動を理解をせてもらう意味を込めて60年10月には隊集会にも参加させてもらいました。積極的な取組みをされているのをこの目でみてよかったと思います。京都だけでなく、全国的にスカウト人口の減少が悩みの種ですが、この運動はただちに結果を求めることではなく、よりよき人、よりよき人生を送るための長い過程であることを理解していただきたいと思います。

実修参加者報告

WB実修所カブスカウト課程第65期　於山中野営場
中川正博

WB実修所ボーイスカウト課程第81期　於山中野営場
五十嵐達夫

WB研修所ボーイスカウト課程京都第13期　於広河原野営場
1986.4.26～29
井上孝　小林恭之　園田一之　服部憲一

担当　服部弘子

財政担当報告

財政委員会

2月　カブ新入隊者諸費用説明会

3月　各隊活動援助費修正予算会議

10月　団会計決算および予算案会議

以上、行ないました。

育成会費および年間行事費の納入は、毎月5日に京都銀行下鴨支店出町出張所にて自動引落になっております。　前日までには各自の残高をお確かめのうえご入金いただきますよう今後ともご協力をお願い申し上げます。

育成会費および年間行事費

	カブ	ボーイ	シニア
育成会費(1ヶ月分)	1500円	1500円	1500円
年間行事費(1ヶ月分)	2000円	2000円	1500円
合　計(1ヶ月分)	3500円	3500円	3000円

同一保護者で2名以上のスカウトが在籍する場合、2人目以上は、育成会費を500円控除した額を納めていただきます。

ローバースカウトの保護者は維持会員となって維持会費月額一口1000円を納めてくださっても結構です。

団会計　高橋 美知代

昭和61年度第38団育成会々計報告

自昭和60年10月 1日
至昭和61年 9月30日

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
団積立準備金	750,000	登録費	298,900
団備品購入引当金	16,300	保険料	36,723
緑化募金還付積立金	34,665	ハウス管理費	171,200
緑化募金還付金	13,680	団行事費	55,500
預り金	60,000	団備品費	133,705
入団諸費	14,000	研修補助費	117,030
育成会費	944,000	活動援助費	174,562
年間行事費	1,335,000	各隊活動援助費	1,155,122
内(カブ隊18名)	(488,000)	内(カブ隊)	(374,025)
(ボーイ隊27名)	(604,000)	(ボーイ隊)	(499,097)
訳(シニア隊12名)	(243,000)	(シニア隊)	(252,000)
維持会費	266,000	訳(ローバー隊)	(30,000)
賛助会費	63,000	慶弔費	16,640
預金利息	63,730	交際費	27,210
雑収入	50,000	地区後援会費	30,000
未収金	104,500	事務費	111,480
前年度繰越金	622,778	会議費	47,000
		団積立準備金	1,050,000
		団備品購入引当金	44,300
		緑化募金還付積立金	48,345
		立替金	104,500
		次年度繰越金	715,436
計	4,337,653	計	4,337,653

上記の通り相違ないことを報告致します。

昭和61年10月14日

団会計　高橋美知代

昭和61年度の会計を監査した結果適正に処理されていることを認めます。

監査人　園田 隆三

監査人　西山豊太郎

昭和62年度育成会々計予算案

自昭和61年10月 1日
至昭和62年 9月30日

収入の部		支出の部	
摘要	金額	摘要	金額
入団諸費	16,000	登録費	300,000
育成会費	1,044,000	保険料	40,000
年間行事費	1,302,000	ハウス管理費	200,000
内(カブ隊18名)	(432,000)	団行事費	50,000
(ボーイ隊25名)	(600,000)	団備品費	100,000
訳(シニア隊15名)	(270,000)	研修補助費	120,000
維持会費	200,000	活動援助費	500,000
前年度繰越金	715,436	各隊活動援助費	1,332,000
		内(カブ隊)	(432,000)
		(ボーイ隊)	(600,000)
		(シニア隊)	(270,000)
		訳(ローバー隊)	(30,000)
		慶弔費	30,000
		交際費	40,000
		地区後援会費	30,000
		会議費	60,000
		事務費	50,000
		印刷費	70,000
		団積立準備金	300,000
		予備費	55,436
計	3,277,436	計	3,277,436

尚 62年度登録人数により 修正予算をたてる場合があります.

団会計 高橋美知代

昭和62年度リーダー編成名簿

61.11.29

	隊長	副長	副長補
RS隊	大藪俊一	鶴田茂一 山内哲雄 山副俊和	
SS隊	本多直樹	榎本信也 山川譲 服部圭佐 遠藤亘	
BS隊	福永幹也	中村三之助 山川裕之 服部憲一 園田一之	
CS隊	平野和人	中川正博 松本龍太郎 井上孝 入矢徹夫	石田和美

昭和６２年度団委員名簿

６１．１１．２９

団顧問		小川玄諦	
育成会長		中川恵造	
団委員長		下坂紀一	
副団委員長		－－－－－－－－	
団会計		高橋美知代	
団委員	担当		
	財政	出口善子（ＣＳ）	
	野行	西村泰一(ﾁｰﾌ)	
		田井中正信(CS)	入矢保子
		今井信也(BS)	熊谷隆 柴田敏夫
		石田啓輔(SS)	三条場トシ子
		南忠子(RS)	
	進歩	服部弘子(ﾁｰﾌ)	松永秀子
	健安	平野和子(ﾁｰﾌ)	宮川アツコ
	組拡	丹羽武(ﾁｰﾌ)	板谷洋子
		河北智恵子	
	指養	西脇香代子(ﾁｰﾌ)	末吉央伯
会計監査		園田隆三	西山豊太郎

（団顧問，育成会長，会計監査は，総会当日選出する役務だが，ここには団委員会での推薦者として掲載した）
略字－野行→野営行事，健安→健康安全，組拡→組織拡張，指養→指導者養成
地区へは，３月地区総会後は丹羽団委員が出向の予定。他に団から，中村三之助，服部圭佐，榎本信也の各氏がコミッショナーの役務を担当しています。